

下松市長

國井益雄様

要 望 書

(令和7年度)

下松市自治会連合会

要 望 書

令和7年11月26日

下松市長

國井 益雄 様

下松市自治会連合会

会長 田中 豊



國井市長におかれましては、平素より、市政発展のためにご尽力されていることに対し、深く感謝と敬意を表しますとともに、自治会連合会の活動に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、これまで地域の課題解決を担ってきた自治会は、少子高齢化などの社会情勢の変化により、「加入率の低下」、「担い手の不足」、「活動の形骸化」などの深刻な問題を抱えております。

しかしながら、この状況を「変革の好機」と捉え、「持続可能な地域コミュニティの再構築」、「デジタル技術の活用などによる活動の効率化」、「行政との共創」に重点を置き、地域の多様な団体と連携しながら、新しい活動形態を模索してまいりたいと考えております。

また、この度、自治会連合会の主要な取り組みの一環として「地域の課題解決」という観点から、各地区自治会連合会より提出された要望事項を「令和7年度市政に対する要望書」として取りまとめましたので、しっかりと受け止めていただき、市政において具体的に反映していただくようお願い申し上げます。

なお、令和6年度までに要望申し上げた項目についても、引き続き取り組みをお願い申し上げます。

Ⅰ. 生活環境について

(1) 空き家対策について

空き家の庭木や雑草が生い茂り、防犯・環境面等で危険性が高まっております。特に危険な空き家については除却の補助制度がありますが、年々増加傾向にあるため、更なる対策を講じていただきますようお願いいたします。

(2) 獣害等対策について

近年、各地において、猪や猿が目撃されており、農作物への被害が出ております。また、昼夜を問わず、出没しているため、学校の通学時間などに被害が出ることも懸念されますので、具体的な対策について、ご検討いただきますようお願いいたします。

また、あわせて、野犬や野良猫の対策についてもパトロールや啓発を行う等、関係機関と連携し、引き続き、ご支援・ご指導いただきますようお願いいたします。

(3) 防災用定点カメラについて

笠戸島（深浦地区）では、地域担当職員を交えて地域の課題・問題点について議論しており、防災用定点カメラの設置を市と一緒に研究している段階まで至っております。

しかしながら、防災面をはじめとする住民の安全・安心づくりは、特定の地域のみではなく、笠戸島全体の課題・問題であるという認識を持って、実情を把握し、早急に防災用定点カメラを設置していただきますようお願いいたします。

2. 都市建設について

(1) 河川の水位管理について

洪水につながる大雨警報が出た場合には、河川が氾濫する危険があるため、河川管理者で、河川の状況確認パトロールをしていただきますようお願いします。

また、あわせて、一人ひとりが、随時、河川の水位をはじめとする防災情報を確認できるよう、防災情報の入手方法について、改めて周知いただきますようお願いします。

(2) 切戸川および小野川の河川敷整備について

切戸川や小野川について、毎年、河川内の草刈り・清掃作業を実施しておりますが、河川の中州に草が伸び、河川敷には木が生い茂っているところがあります。近年、集中豪雨が多発し、大雨の時、河川の増水に影響を及ぼすため、木の伐採等についてご検討いただきますようお願いします。

(3) 市道城山通りについて

楠木町2丁目5番付近(城山交差点～下松タウンセンター東交差点間)の路肩について、路肩に沿って溝蓋のない深い側溝がありますが、ガードパイプなどの保護柵がないため、草が茂ると境目がわからず大変危険です。通学路でもあり、また、ごみステーションも近くに設置されていますが、路肩が狭く交通量も多いため、安全に通行できるよう整備をお願いします。

(4) 雨水排水対策について

末武地区では、竹屋川 4 号幹線の整備や竹屋川第 2 ポンプ場の完成により大規模な雨水浸水災害は漸減したかのようですが、竹屋川排水区の東部一帯では、今も市道の冠水、宅地への浸水被害が年に 2～3 回発生しており、住民は、不安な日々を過ごし生活に深刻な影響を及ぼしています。

こうした浸水被害は、単なる一時的な現象ではなく、地域の安全と安心を脅かす喫緊の課題です。住民の生命と財産を守るため、市道横川線の拡幅や竹屋川 2 号幹線の整備等、雨水排水対策を早急に実施していただきますようお願いいたします。

(5) ガードパイプの設置について

ヤマダデンキテックランド周南店西側の平田川沿いの左岸道路について、年 2 回の河川清掃で草刈りは行われていますが、道路が未舗装で狹隘であるため通行の困難な場所があります。また平田橋以南の右・左岸の道路については通学路にもなっており、道路の川側にはガードパイプがありますが、場所によっては道路の左右とも転落の危険性がある個所があります。市民の安全を守るため、道路舗装及び危険個所の対応として両側へのガードパイプの設置をお願いします。

(6) 米泉湖公園の整備について

末武川ダム（米泉湖）は平成4年3月に竣工し、ダム周辺は米泉湖公園として整備され、春には桜、秋には紅葉と、下松市の中でも自然に恵まれた地域として、多くの方に親しまれています。また、下松駅伝競走大会やイベントが開催されるなど、多くの市民の方が米川に訪れています。

このように、多くの方から親しまれている米泉湖公園ですが、駐車場内の区画線が消えかかるなど、整備が十分に行き届いていない箇所が散見されます。

つきましては、自然公園の持つ公益機能を更に発揮し、安全で快適に利用できるよう、公園内を適正に維持管理していただきますよう要望します。

3. 市民協働について

(1) 協働によるまちづくりについて

自治会は、社会情勢の変化により、加入率の低下や担い手の不足など様々な課題を抱えておりますが、その一方で、生活の支え合いの基盤として、多岐にわたる活動が求められております。

本会においても、自治会参加による公園・道路等の管理や自治会未加入者への対応などに重点を置いて、課題の解決に向けて検討しているところです。市におかれましても、協議、研究をお願いします。

また、現在、自治会では、地域の環境美化を維持するため、道路法面などの草刈りを行っておりますが、人手不足・刈った草の処分・草刈り機の個人負担があるなどの状況に苦慮しているところです。除草剤の散布・刈った草の処分・除草器具の貸し出しなど自治会の負担軽減につながる方法について、

ご検討いただきますようお願いいたします。あわせて、現行の自治会活動助成金は、貴重な財源となっているため、引き続き、現行制度を維持していただくとともに、助成金の増額についてご検討いただきますようお願いいたします。

以上